

会 議 録

会 議 名	令和 5 年度第 1 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会		
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 会長及び副会長の互選について（公開） 2 「介護予防10年の計」の実施状況について（報告）（公開） 3 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の令和 4 年度事業実施報告及び令和 5 年度事業実施計画について（報告）（公開） 4 指定介護予防支援業務の委託について（報告）（公開） 5 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 6 地域密着型サービス等（認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 7 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定申請取下げについて（報告）（公開） 8 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定廃止届出取下げについて（報告）（公開）		
日 時	令和 5 年 5 月 2 4 日（水） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 3 0 分まで		
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室		
出席者氏名	副会長 川島 信良 委員 中林 隆 秋田 茂 古賀 晴美 豊田 義雄 寺嶋 雪子 大用 菜穂子 遠山 康雄 中村 綾子 高森 輝行		

	山崎 美紀 山名 裕里 岡村 昌夫 須賀田 貞彦 中山 道子 香山 啓 澤田 健次郎 篠田 恵美子 藤井 愛子 波戸 タカ子 森田 邦子 三輪 秀民 天神 敏門 高橋 武宜 鏡 浩美 内藤 公子 事務局 今村 繁 (副市長) 小林 智彦 (福祉部長) 山口 忠司 (高齢者支援課長) 吉田 陽子 (高齢者支援課長補佐兼介護認定係長) 鈴木 智子 (高齢者支援課高齢者支援係長) 小沼 綾子 (高齢者支援課介護給付係長) 山下 敏也 (高齢者支援課地域包括支援センター長) 田中 道男 (高齢者支援課高齢者支援係主査) 神吉 真帆 (高齢者支援課高齢者支援係主任主事) 宮本 優里 (高齢者支援課高齢者支援係主事) 太田 蒼人 (高齢者支援課介護認定係主事) 三浦 明日香 (高齢者支援課地域包括支援センター 主任主事) 松本 和博 (生活支援課長) 岡田 勇貴 (障がい者支援課長) 田中 洋介 (社会福祉協議会事務局長) 峯崎 光春 (保健センター長) 小島 信明 (市民生活部参事兼国保年金課長) 室井 洸人 (株式会社アールピーアイ栃木) 谷田部 徹 (株式会社アールピーアイ栃木)
欠 席 委 員 氏 名	会 長 鈴木 隆一 委 員 白島 智子 鈴木 剛 柳田 信也

傍 聴 者	0 名
非 公 開 の 事 由	—
議 事	令和 5 年度第 1 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりである。
高齢者支援課長補佐 兼介護認定係長	令和 5 年 5 月 24 日 午後 1 時 30 分、開会を宣言 任期満了に伴う委員改選後初めての会議であり、市長名で会議を招集した旨を説明
副市長	副市長より挨拶
高齢者支援課長補佐 兼介護認定係長	各委員より自己紹介 欠席の委員を報告した。 会議の成立を報告した。 会議録作成のため録音機を使用することを報告するとともに、発言について説明した。 審議の公開について報告した。 傍聴について説明した。
高齢者支援課長補佐 兼介護認定係長	議題 1 会長及び副会長の互選について 会長が決まるまで副市長に仮議長を務めていただく。
副市長	< 異議無しの声あり > 会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただく。 選出方法を委員に問うた。

内藤委員	推薦ではどうか。
	<異議なしの声あり>
副市長	推薦をお願いする。
内藤委員	本日欠席ではあるが、鈴木隆一委員はいかがか。
副市長	鈴木委員に会長をお願いしたいと思うが、いかがか。
	<異議なしの声あり>
副市長	会長は鈴木隆一委員に決定した。 鈴木会長が欠席なので、副会長の選出も務めさせていただく。 推薦をお願いする。
内藤委員	川島委員はいかがか。
副市長	川島委員に副会長をお願いしたいと思うが、いかがか。
	<異議なしの声あり>
副市長	副会長は川島委員に決定した。
川島副会長	川島副会長より挨拶

副市長	副会長決定に伴い、議長を交代する。
	<副市長退席>
川島副会長	議題 2 「介護予防10年の計」の実施状況について (報告) 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。
古賀委員	資料の 2 ページ「令和 4 年度のだまめ学校の実施状況（8 月、9 月は休講）（表 4）」について、オンライン講座の講座回数は92回となっているが、参加人数（実）が 0 人となっている。これは、本講座や出張本講座に参加した方が参加したので、延べ人数のみがカウントされているのか。
高齢者支援課長	オンライン講座は、本講座の一環として実施しているため、参加者はこちらにある参加人数（延）で、本講座等を合計して3,958人になる。
古賀委員	令和 5 年度はオンライン講座を実施しないのか。
高齢者支援課長	オンライン講座は、コロナの関係もあり実施していたが、コロナに関係なくオンラインの環境でできるものは、今年度も引き続き実施していきたいと考えている。
豊田委員	えんがわの補助について提案がある。えんがわの 3 年目以降の補助について、一律で金額が決まってい

高齢者支援課長	る。主催者によっては、会館使用料等、補助金だけでは賄えないところもあるため、個別に申請をして、足りない金額を補助するようにできるか聞きたい。 えんがわの補助金は、開設時の補助、開設から3年間の運営支援の補助、その後2年間の運営の継続支援の補助として、5年間補助している。今も話があったが、自治会館等での実施も多いため、会場使用料等が掛かるという御意見は頂いている。今後、補助金だけではなく、えんがわの在り方についてどのようにしていくかというところを、現在検討している状況である。
川島副会長	他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	議題3 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業実施計画について（報告） 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。
三輪委員	地域ケア会議に関して、ケアマネジャーの不足による課題が、何点か包括支援センターから指摘されている。 例えば、資料の27ページ、野田市南第2の令和4年度に把握した地域課題の2では、「要支援者ケアマネジメントの受皿の不足」が指摘され、また、「ケアマネジャーの不足は全国的な問題」とも指摘されてい

高齢者支援課長	る。 次に、資料の28ページ、野田市北の令和4年度に把握した地域課題の2では、「要支援者ケアマネジメントの受皿不足の改善」が指摘されている。 さらに、資料の29ページでは、野田市関宿の令和4年度に把握した地域課題の上から4番目の「・」では、「介護予防支援者の受け手（ケアプラン作成担当者）がいなく、利用までに時間を要している。」と指摘されている。 具体的には、資料40ページの「エ 野田市南第1高齢者なんでも相談室」の常勤職員の主任介護支援専門員が（募集中）と記載しており、これはプランを作成する要のキーマンがいないということである。介護予防を進めていく上で、ケアプランができないと、その人を良い方向に持っていけないので、どのような理由でケアマネジャーが不足しているのか、実態や、それをどうやって解決していくのかというような方法を教えていただきたい。 委員の御質問の中にもあったが、ケアマネジャーの人員不足は全国的なものということもあり、ケアマネジャーの不足がケアプラン作成の問題となっていることが考えられる。 また、要支援者のケアプラン作成は、要介護者のケアプラン作成と比べて、介護報酬が低くなっていることも、例えば、地域包括支援センターから居宅介護支援事業所にケアプラン作成を委託する場合のネックになっているのではないかと考えている。 いずれも市が単独で対策を講じることが難しいとこ
----------------	--

古賀委員	ろがある。国でも、例えば委託連携加算等の見直し等がされているが、十分ではないのかなと考えている。したがって、今後の国の動向を注視していきたいと考えている。また、野田市では介護支援専門員協議会と意見交換会を行っているので、いろいろ意見交換をさせていただき、引き続き、連携していきたいと考えている。 二点教えてほしい。一点目は、資料の 46 ページ、(7)の④について、「I C Tに関する説明会等を実施し、登録者数を増やす等、活用を促進するための取組を行います。」とあるが、これは、資料の 31 ページ、(6)の①にある、「在宅医療及び認知症の診療を実施している医療機関の一覧とマップを更新し、ホームページに掲載しました。」というところにつながるのか。情報共有というのは、何の情報共有なのかということと、登録者数を増やすとは、何を増やすのかということを教えてほしい。 二点目は、資料の 46 ページ、(7)の「②在宅医療・介護連携の課題の抽出」において、「公表データや死亡小票を活用し」というところで、「状況を把握し、地域の特性や課題の抽出を行います。」とあるが、これは今まではなかったのか、その辺りを教えてほしい。
高齢者支援課長	I C Tに関しては、現在野田市においては、野田市医師会で医療・介護連携システムを導入している。そちらの活用を図っていただくために、登録数を増やす等の周知を図っていききたいというところがこちらの部

	分である。市としても、現在は野田市医師会の方で利用していただいているが、今後どのような形にしてい くかという検討を現在進めている。 「公表データや死亡小票を活用し」については、現 在、野田市では実施していない。
川島副会長	他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	議題 4 指定介護予防支援業務の委託について(報告) 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	議題 5 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護) 事業所の指定更新について (報告) 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	議題 6 地域密着型サービス等 (認知症対応型通所介 護及び介護予防認知症対応型通所介護) 事業所の指定 更新について (報告) 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	議題 7 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護) 事業所の指定申請取下げについて (報告)

	議題 8 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護)事業所の指定廃止届出取下げについて(報告) 議題 7 と議題 8 について、関連があるため一括して事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。
川島副会長	その他について、事務局から何かあるか。
高齢者支援課長	議題 2 の中で、のだまめ学校のオンラインの講座は今年度も継続すると説明したが、現在のところ、今年度のオンライン講座の予定は入っていない。今後は、状況によってという形になると思うので、訂正させていただく。
古賀委員	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けは 5 類感染症となったが、患者数が増えている段階で 5 類に移行している。高齢者施設で集団発生があったことは恐らく把握されていると思うが、そういう中で、マスクの着用が個人の判断となり、アルコールの設置が減ってきている状況なので、リスクが高い方はなかなか集合形式に参加できない方もいるかもしれないため、ツールの一つとしてそういうものを活用していけるような環境があると良いのかなと思う。 5 類というのは発生届が提出されないので、週 1 回の限られた医療機関からの報告しか上がってこないため、本当の感染者数が分からない状況になっている。そのため、高齢者はリスクが高い。ウイルスは変わらない状態で社会が変わっているので、本当に危ないな

高齢者支援課長	と思っているので、その辺りを検討してほしい。 今年度について、今のところ予定はないが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見ながら、オンライン講座も含め、状況に応じて方法を考えていきたい。
川島副会長	午後 2 時30分、閉会を宣言